

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	鈴鹿市社会福祉協議会 鈴鹿市第2療育センター		
○保護者評価実施期間	7年 12月 8日		8年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	7年 12月 3日		7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様と通所していただくため、お子さまが成長されることはもちろんですが、お子さまの成長を活動される様子と一緒に見ながら感じていただくことができます。	活動の目的をお伝えし、できるようになってきていることや、お子さまが今どのように頑張っているかをその場でお伝えするようにしています。	今後も、できるようになっていくことや、そのために必要なこと等を丁寧にお話させていただきます。
2	保護者様の困り感やお悩みをお子さまの様子と一緒に確認しながらお話することができます。保護者様と通所していただいておりますので、一緒に悩み、考えさせていただける機会が多いのも療育センターの特徴です。	ご希望があれば、療育や個別訓練の時間以外にもお話を聞かせていただいております。また、保護者の方と一緒に通所していただくクラスが多いので普段から情報共有を心がけています。	保護者様が話しやすいような雰囲気作りやお声がけを心がけ、お話を伺う機会を設けるような仕組み作りに取り組んでまいります。
3	様々な専門職員を配置しておりますので、各専門職ならではの視点でお子さまと保護者様をサポートさせていただいております。	個別訓練の活動の時間に保護者さんから困り感などのお話を伺わせていただくこともあります。生活の様子や将来への願いや思いを伺い一緒に考えさせていただくようにしています。	より丁寧にわかりやすくお伝えできるように具体的にお話しできるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご指摘頂いた通り、活動によっては部屋が手狭となったり、同じものを使用して活動することとなっています。	活動に使う遊具と目的の調整をする必要があると思っています。同じものを使った活動もあるので、丁寧にご説明する必要があると思います。	既存の物に捉われず、利用者様が楽しみながら活動していただけるように内容を検討してまいります。また、人員・物の配置を工夫し活動しやすい空間作りに努めてまいります。
2	保護者様への支援プログラムや相談の充実をより行っていきたいと思っています。	きずなネットやポスター掲示はしているものの、相談をお受けしていることの周知が上手くできていないと思います。	周知方法を変更し、よりお話を伺える機会がもちやすいようにしてまいります。
3			